



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ワットマン
 コード番号 9927 URL <http://www.wattmann.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川畑 泰史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理IRグループ グループ長 (氏名) 渡邊 匡
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

TEL 045-959-1100
2021年6月30日

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	3,634	△1.3	269	△13.2	275	△11.6	207	△19.0
2020年3月期	3,681	—	310	—	311	—	256	—

(注) 包括利益 2021年3月期 207百万円 (△19.1%) 2020年3月期 256百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純 利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	189.70	—	7.9	8.0	7.4
2020年3月期	234.31	—	10.5	9.5	8.4

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円
 2020年3月期より連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期の対前期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	3,576	2,712	75.2	2,457.90
2020年3月期	3,340	2,552	76.2	2,327.56

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,687百万円 2020年3月期 2,545百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	213	△115	39	1,501
2020年3月期	392	△31	△150	1,364

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00	64	25.6	2.7
2021年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00	65	31.6	2.5
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	60.00	60.00	—	21.8	—

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当 たり当 期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,063	25.2	161	37.8	164	38.3	107	107.4	98.23
通期	4,211	15.9	353	31.1	358	30.4	300	44.9	274.89

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	1,136,854 株	2020年3月期	1,136,854 株
② 期末自己株式数	2021年3月期	43,290 株	2020年3月期	43,290 株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	1,093,564 株	2020年3月期	1,093,569 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「今後の見通し」をご覧ください。

当社は、2021年5月28日に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定でしたが、5月11日を期限としていた4都道府県に対する新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言が31日まで延長され、神奈川県における特措法に基づくまん延防止等重点措置も5月31日まで実施予定である為、説明会の開催を中止することといたしました。使用を予定しておりました決算説明資料は開催予定日でありました5月28日に当社ホームページに掲載する予定です。株主・投資家の皆さまをはじめ、関係者の皆さまにはご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。今後開示すべき事項が発生した場合は、速やかにお知らせいたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(会計上の見積りの変更)	13
(修正再表示)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. その他	15
(1) 仕入及び販売の状況	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度末現在において当社が判断したものであります。

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により実体経済に多大な影響が発生し、厳しい状況に転じました。

このような新型コロナウイルス感染症流行下において、当社グループは「地域の感染拡大防止」と「従業員の安全確保」という社会的責任を果たすため、国内の全店舗を4月初旬から4月末まで全店休業し、一部テナント店舗は5月末まで休業いたしました。また、タイ王国の倉庫型店舗は3月末から4月末まで、テナント店舗は4月から5月中旬まで休業いたしました。営業再開後も時短営業、ソーシャルディスタンスの確保、レジ前のビニールシートの設置、店舗への消毒液やマスクなどの配備等を実施し、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めております。

5月の営業再開後は、前連結会計年度に引き続き、成長のための体制づくりとマネジメント力の強化を積極的にすすめるとともに、収益の改善に努めてまいりました。

具体的には、コア事業の成長・スピンオフ事業の成長・海外事業の成長を通じたオーガニックな成長を図っております。

営業政策面では、「新しい日常」に対応すべく、ネット通販の強化、スポーツ・アウトドアのジャンル強化等を進めました。店舗政策面では、2020年8月に、タイ王国4号店Wattmann Sukhumvit 39店をオープンし、2020年12月に海老名事業所を二宮事業所と統合しワットマンホビー・ワットマンSC海老名店を増床オープンいたしました。また、第4四半期以降、2021年1月にタイ王国5号店Wattmann Samkhok店、2月にゲームステーション(GS)上大岡店・本厚木店を事業譲受いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、前年と比べ47百万円(1.3%)減収の36億34百万円となりました。これはタイ王国の4店舗と海老名店・本厚木・上大岡を中心とした開閉店が前年同期と比べ1億31百万円(29.3%)増収の5億80百万円であったものの、4月全店休業により、既存店が前年と比べ1億78百万円(5.5%)減収の30億54百万円となったことによります。

商品カテゴリー別の売上高では、電化製品等が前年と比べ22百万円(3.0%)減収の7億42百万円、服飾等が2億17百万円(15.5%)減収の11億90百万円、パッケージメディア(本・CD/DVD・ゲーム)が22百万円(2.4%)減収の9億36百万円、その他は各種専門業態(ワットマンホビー・ワットマンSC(スポ・キャン)・GS)のスタート等により2億16百万円(39.4%)増収の7億64百万円となりました。

売上総利益は、売上減収のため前年と比べ67百万円(2.7%)減益の23億75百万円、売上総利益率65.4%となりました。既存店は91百万円(4.2%)減益の20億82百万円でしたが、開閉店は各種専門業態のスタート等により24百万円(8.9%)増益の2億93百万円となりました。

商品カテゴリー別の売上総利益については、電化製品等が前年と比べ4百万円(0.9%)減益の5億1百万円、服飾等が1億75百万円(19.4%)減益の7億32百万円、パッケージメディア(本・CD/DVD・ゲーム)が2百万円(0.4%)増益の6億8百万円、その他は1億10百万円(26.2%)増益の5億33百万円となりました。

販売費及び一般管理費においては、一部店舗における営業時間短縮に伴う臨時傭人費や用水光熱費の減少、及び休業期間中の人件費、家賃、減価償却費等の固定費39百万円の特別損失への計上等により、前年と比べ26百万円(1.2%)減少し21億6百万円となりました。既存店では前述の事由により1億6百万円(5.8%)減少の17億30百万円、開閉店ではタイ王国子会社の店舗増加、海老名事業所増床、GS事業譲受、二宮事業所閉鎖等により80百万円(27.3%)増加の3億75百万円となりました。

上記の結果、営業利益は、前年と比べ40百万円(13.2%)減益の2億69百万円となりました。既存店は15百万円(4.6%)増益の営業利益3億51百万円、新店は56百万円減益の営業損失82百万円となりました。経常損益は前年同期と比べて36百万円(11.6%)減益の2億75百万円となりました。

経常利益以下については、臨時休業による損失39百万円を計上した結果、税金等調整前当期純利益が前年と比べ66百万円(21.8%)減益の2億36百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は48百万円(19.0%)減益の2億7百万円となりました。

なお、2019年3月以前より同一業態で営業中の事業所を既存店、その他事業所を開閉店としております。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は、23億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億9百万円増加いたしました。

これは、現金及び預金が1億37百万円、売掛金が39百万円、商品が26百万円それぞれ増加したことなどが主な要因であります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は、12億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円増加しております。これは、長期貸付金が8百万円、長期前払費用が15百万円、敷金及び保証金が6百万円、繰延税金資産が23百万円それぞれ増加し、有形固定資産が22百万円、無形固定資産が8百万円それぞれ減少したことなどが主な要因であります。

この結果、総資産は35億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億36百万円の増加となりました。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は、4億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円増加いたしました。

これは、買掛金が28百万円、短期借入金が34百万円、1年内返済予定の長期借入金が18百万円、未払費用が16百万円それぞれ増加し、未払法人税等が27百万円、未払消費税等が22百万円それぞれ減少したことなどが主な要因であります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は、3億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円増加いたしました。

これは、長期借入金が34百万円増加したことなどが主な要因であります。

この結果、負債合計は8億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円の増加となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、27億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億59百万円増加しております。

これは、親会社株主に帰属する当期純利益が2億7百万円計上されたこと、配当金が65百万円あったこと等により利益剰余金が1億41百万円増加したことが主な要因であります。

これらの結果、自己資本比率が75.2%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ1億37百万円増加し15億1百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ1億78百万円収入減の2億13百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が2億36百万円、減価償却費が66百万円、減損損失が6百万円、棚卸資産の減少21百万円、仕入債務の増加28百万円がそれぞれ計上された一方、法人税等の支払額が75百万円、売上債権の増加39百万円、未払消費税等の減少22百万円がそれぞれ計上されたこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ84百万円支出増の、1億15百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が40百万円、敷金及び保証金の支出(純額)が8百万円、営業譲受による支出48百万円が計上されたことなどによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ1億89百万円収入増の39百万円の収入となりました。これは主に、長短借入金の借入(純額)が87百万円、配当金の支払が65百万円計上されたことなどによります。

(4) 今後の見通し

当連結会計年度においてはコロナウイルス感染症拡大により4月を中心とする休業と、第3四半期に業績不振にみまわれました。タイ王国子会社においても、休業と新店舗開店初期費用発生により損失が先行しました。

そのような状況下で当社グループは、ネット通販の強化、不調の服飾等からスポーツ・アウトドア・家具等ヘジャンル移行を進め在庫水準の維持及び売上総利益率・額の向上を目指しました。また、スピンオフ戦略の一環としてホビー業態、スポーツ&キャンプ業態、及びゲームステーション事業の譲受を実行しました。さらにタイ現法に追加出資し債務超過を解消しました。

その結果、5月から3月の当社単体売上高、売上総利益及び営業利益は前年比増収増益の34億57百万円(2.0%)、22億76百万円(1.1%)、3億47百万円(10.4%)となりました。

このように現時点でコロナウイルス感染症の沈静化には至っておりませんが、5月以降の業績は順調に回復しており、コロナウイルス感染症流行の業績への影響は一時的、限定的で、「新しい日常」においても当社のビジネスモデルは有効であると考えております。

2022年3月期においても引き続きネット通販強化、スポーツ・アウトドア・家具等ヘジャンル移行とスピンオフ戦略による新業態の開発を進める予定です。また、タイ王国子会社は当社グループ外からの商品調達を強化し早期黒字転換を目指します。

2022年3月期の業績予想は全店休業からの回復と新店の貢献により連結売上高42億11百万円(15.9%増収)、営業利益3億53百万円(31.1%増益)、経常利益3億58百万円(30.4%増益)、親会社株主に帰属する当期純利益3億円(44.9%増益)を見込んでおります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、日本国内において事業の大半を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,364,151	1,501,523
受取手形及び売掛金	70,904	110,693
商品	568,113	594,533
その他	106,365	112,011
流動資産合計	2,109,534	2,318,762
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,175,272	1,176,792
減価償却累計額	△990,755	△1,014,580
建物及び構築物(純額)	184,517	162,212
機械及び装置	-	6,274
減価償却累計額	-	△313
機械及び装置(純額)	-	5,960
車両運搬具	15,375	15,375
減価償却累計額	△14,369	△14,874
車両運搬具(純額)	1,006	501
工具、器具及び備品	420,873	441,689
減価償却累計額	△344,869	△371,738
工具、器具及び備品(純額)	76,003	69,950
土地	382,457	382,457
建設仮勘定	359	1,046
有形固定資産合計	644,343	622,129
無形固定資産	21,481	13,367
投資その他の資産		
投資有価証券	3,685	4,942
長期貸付金	3,550	12,390
長期前払費用	13,468	28,908
敷金及び保証金	483,226	489,582
繰延税金資産	60,733	83,984
その他	80	2,475
投資その他の資産合計	564,743	622,283
固定資産合計	1,230,568	1,257,780
資産合計	3,340,102	3,576,542

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,514	46,225
短期借入金	-	34,400
1年内返済予定の長期借入金	120,560	139,120
未払費用	120,535	136,637
未払法人税等	59,621	32,331
未払消費税等	47,721	24,912
賞与引当金	26,600	22,400
その他	38,684	37,496
流動負債合計	431,238	473,523
固定負債		
長期借入金	236,100	270,800
退職給付に係る負債	25,500	30,703
長期預り保証金	89,468	89,468
その他	5,176	-
固定負債合計	356,246	390,972
負債合計	787,484	864,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	1,659,861	1,659,861
利益剰余金	539,013	680,849
自己株式	△57,570	△57,570
株主資本合計	2,641,305	2,783,141
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△346	834
土地再評価差額金	△95,726	△95,726
為替換算調整勘定	109	△374
その他の包括利益累計額合計	△95,963	△95,266
非支配株主持分	7,275	24,171
純資産合計	2,552,618	2,712,046
負債純資産合計	3,340,102	3,576,542

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	3,681,922	3,634,837
売上原価	1,238,772	1,258,855
売上総利益	2,443,149	2,375,982
販売費及び一般管理費	2,132,841	2,106,555
営業利益	310,308	269,426
営業外収益		
受取利息	1,845	1,404
受取配当金	79	70
受取手数料	5,771	7,002
為替差益	-	3,133
その他	4,274	2,255
営業外収益合計	11,971	13,867
営業外費用		
支払利息	3,753	3,822
前払賃料償却	4,376	4,376
為替差損	2,976	-
その他	100	75
営業外費用合計	11,206	8,274
経常利益	311,073	275,019
特別利益		
保険差益	361	1,712
補助金収入	-	5,635
投資有価証券売却益	218	77
有形固定資産売却益	109	-
特別利益合計	688	7,426
特別損失		
減損損失	7,909	6,796
投資有価証券評価損	1,401	-
臨時休業による損失	-	39,231
特別損失合計	9,311	46,027
税金等調整前当期純利益	302,450	236,418
法人税、住民税及び事業税	62,996	52,514
法人税等調整額	△16,789	△23,545
法人税等合計	46,206	28,968
当期純利益	256,243	207,449
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	256,243	207,449

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	256,243	207,449
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	209	1,181
為替換算調整勘定	223	△988
その他の包括利益合計	433	193
包括利益	256,676	207,642
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	256,562	208,146
非支配株主に係る包括利益	113	△503

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	500,000	1,659,861	315,577	△57,550	2,417,888
当期変動額					
剰余金の配当			△32,807		△32,807
親会社株主に帰属する 当期純利益			256,243		256,243
自己株式の取得				△19	△19
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	223,436	△19	223,416
当期末残高	500,000	1,659,861	539,013	△57,570	2,641,305

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△556	△95,726	-	△96,282	-	2,321,606
当期変動額						
剰余金の配当						△32,807
親会社株主に帰属する 当期純利益						256,243
自己株式の取得						△19
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	209	-	109	319	7,275	7,595
当期変動額合計	209	-	109	319	7,275	231,012
当期末残高	△346	△95,726	109	△95,963	7,275	2,552,618

当連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	500,000	1,659,861	539,013	△57,570	2,641,305
当期変動額					
剰余金の配当			△65,613		△65,613
親会社株主に帰属する 当期純利益			207,449		207,449
自己株式の取得				-	0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	141,835	-	141,835
当期末残高	500,000	1,659,861	680,849	△57,570	2,783,141

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△346	△95,726	109	△95,963	7,275	2,552,618
当期変動額						
剰余金の配当						△65,613
親会社株主に帰属する 当期純利益						207,449
自己株式の取得						0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	1,181		△484	697	16,895	17,592
当期変動額合計	1,181	-	△484	697	16,895	159,428
当期末残高	834	△95,726	△374	△95,266	24,171	2,712,046

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	302,450	236,418
減価償却費	77,450	66,222
長期前払費用償却額	5,448	8,048
差入保証金償却額	2,664	2,627
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,800	△4,200
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,347	5,202
受取利息及び受取配当金	△1,924	△1,475
支払利息	3,753	3,822
為替差損益(△は益)	2,976	△183
有形固定資産売却損益(△は益)	△109	-
投資有価証券売却損益(△は益)	△218	△77
投資有価証券評価損益(△は益)	1,401	-
減損損失	7,909	6,796
売上債権の増減額(△は増加)	△2,688	△39,791
たな卸資産の増減額(△は増加)	15,091	21,624
仕入債務の増減額(△は減少)	7,545	28,712
未払費用の増減額(△は減少)	△10,463	10,669
未払消費税等の増減額(△は減少)	31,334	△22,807
その他	△5,208	△28,621
小計	441,561	292,989
利息及び配当金の受取額	155	187
利息の支払額	△3,706	△3,829
法人税等の支払額	△45,352	△75,446
営業活動によるキャッシュ・フロー	392,658	213,901
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△34,816	△40,959
有形固定資産の売却による収入	109	-
無形固定資産の取得による支出	△2,550	△1,065
投資有価証券の売却による収入	781	296
敷金及び保証金の差入による支出	△3,427	△34,524
敷金及び保証金の回収による収入	17,604	26,190
貸付けによる支出	△3,550	△8,825
営業譲受による支出	-	△48,923
その他	△5,219	△7,323
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,069	△115,135
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	34,153
長期借入れによる収入	-	200,000
長期借入金の返済による支出	△124,560	△146,740
自己株式の取得による支出	△19	-
配当金の支払額	△32,631	△65,467
非支配株主からの払込みによる収入	7,162	17,418
財務活動によるキャッシュ・フロー	△150,048	39,365
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,783	△758
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	207,756	137,372
現金及び現金同等物の期首残高	1,156,395	1,364,151
現金及び現金同等物の期末残高	1,364,151	1,501,523

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は「リユース事業」の単一セグメントであるため記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 商品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	電化製品等	服飾等	パッケージメディア	その他	合計
外部顧客への売上高	765,703	1,408,615	958,892	548,710	3,681,922

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 商品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	電化製品等	服飾等	パッケージメディア	その他	合計
外部顧客への売上高	742,817	1,190,982	936,197	792,840	3,634,837

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	2,327.56円	2,457.90円
1株当たり当期純利益	234.31円	189.70円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	256,243	207,449
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	256,243	207,449
普通株式の期中平均株式数(株)	1,093,569	1,093,564

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,552,618	2,712,046
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	7,275	24,171
(うち非支配株主持分(千円))	(7,275)	(24,171)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,545,342	2,687,875
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	1,093,564	1,093,564

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 仕入及び販売の状況

1. 商品仕入実績

当連結会計年度における商品仕入実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
リユース事業	電化製品等	224,960	17.5	88.7
	服飾等	409,746	31.9	87.4
	パッケージメディア	306,471	23.8	86.4
	その他	344,975	26.8	233.5
合計		1,286,154	100.0	105.1

- (注) 1 金額は仕入価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。

2. 販売実績

当連結会計年度における販売実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
リユース事業	電化製品等	742,817	20.4	97.0
	服飾等	1,190,982	32.8	84.5
	パッケージメディア	936,197	25.8	97.6
	その他	764,840	21.0	139.4
合計		3,634,837	100.0	98.7

- (注) 1 金額は販売価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。